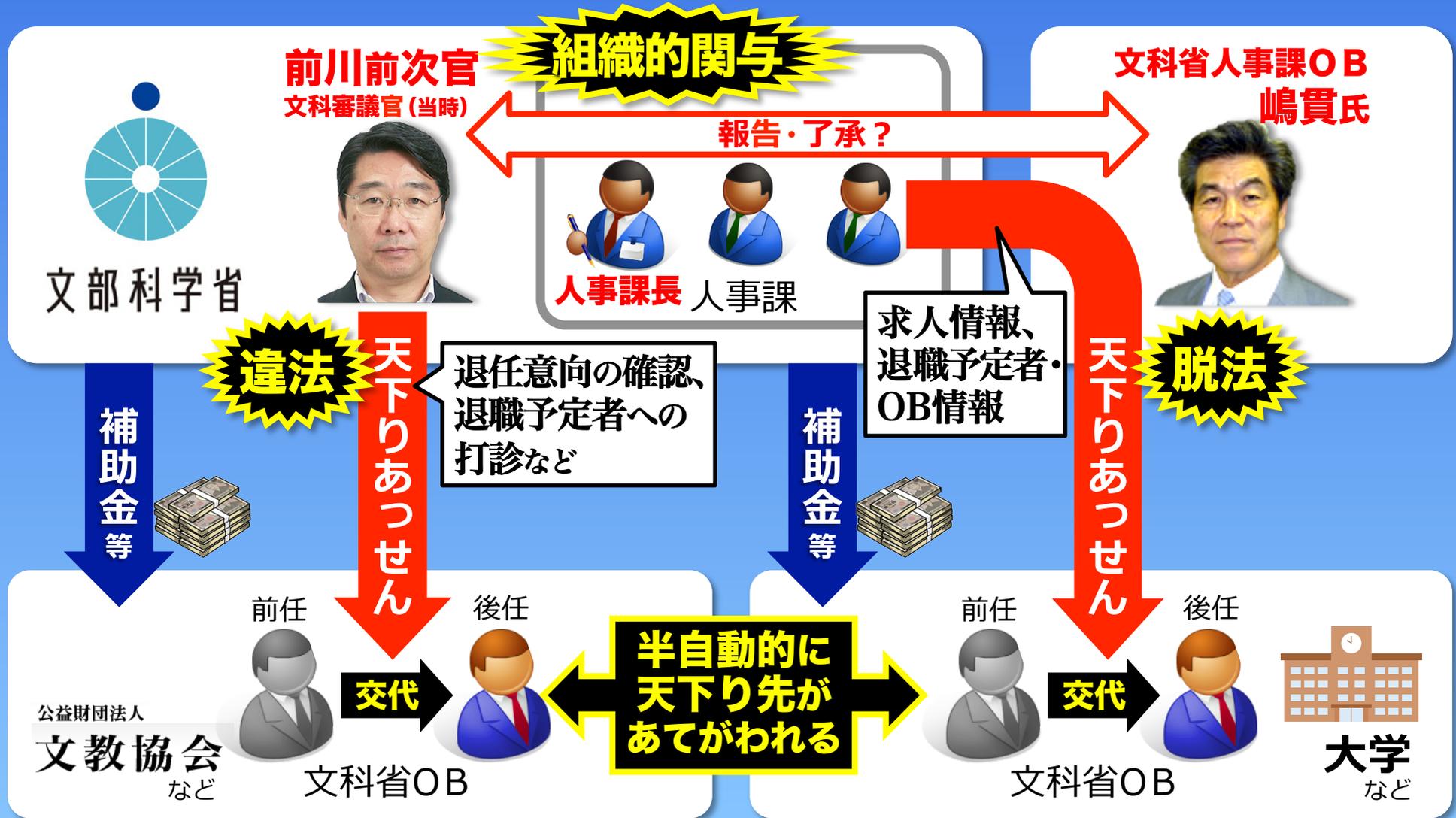


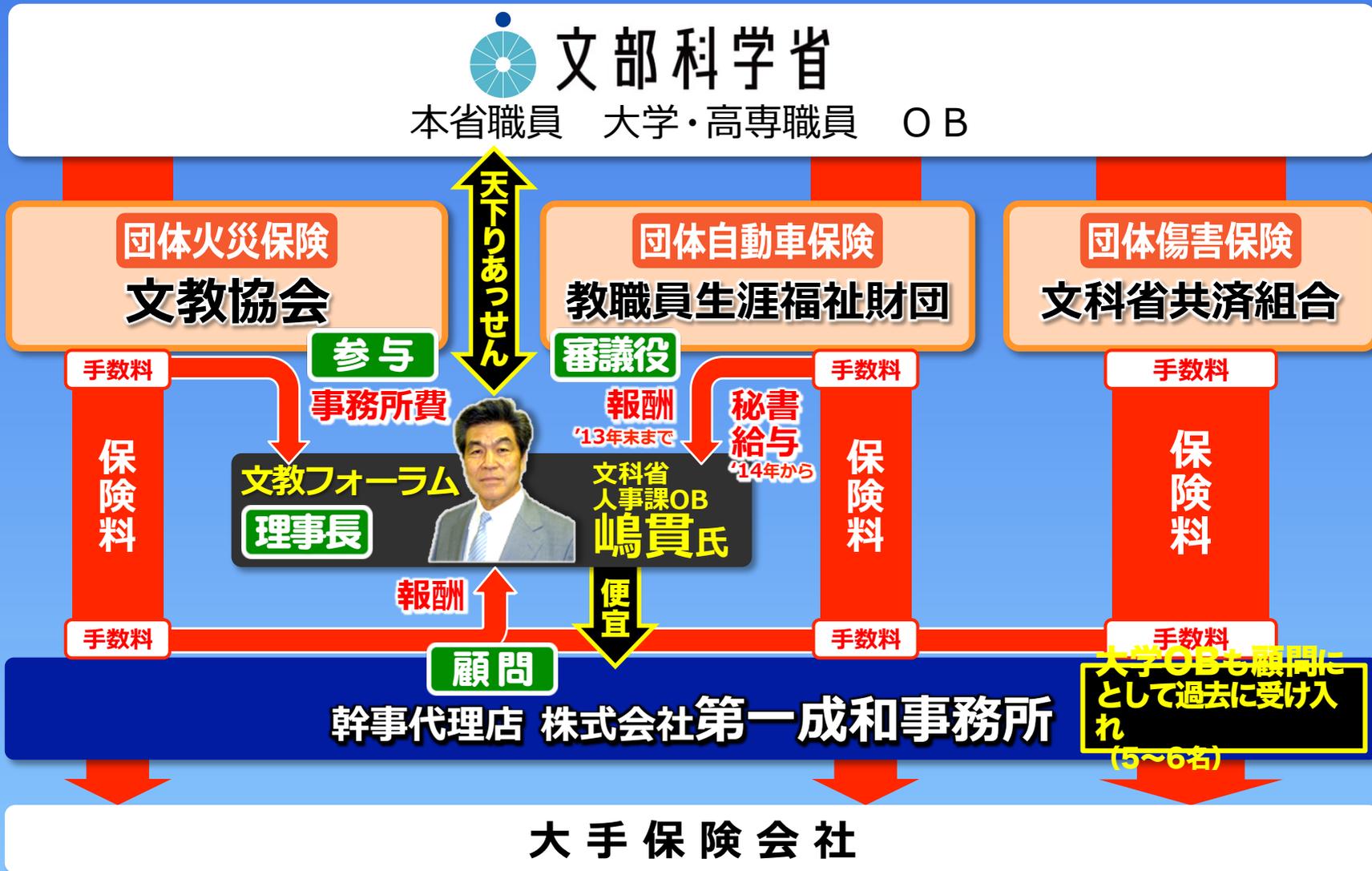
文科省天下りの構図「次官関与」「OBう回路」



平成29年2月7日(火) 衆議院予算委員会 玉木雄一郎(民進党・無所属クラブ) 出典：再就職等監視委員会「文部科学省職員及び元職員による再就職等規制違反行為が疑われた事案に関する調査結果について」(平成29年1月20日)及び「文部科学省早稲田大学事案に係る調査報告書」(平成29年2月6日理事会提出資料)をもとに玉木雄一郎事務所にて作成

天下りを脱法あつせんした文科省OBの収入源

(2014年以降)



被保険者

集金機関

代理店

保険者

パネルの写し

平成29年2月7日(火) 衆議院予算委員会 玉木雄一郎 (民進党・無所属クラブ) 出典：文部科学省提出資料、文部科学省再就職等問題調査班「特定OBを介した再就職等あつせんの構造について」(平成29年2月6日) 及び玉木雄一郎事務所調査をもとに玉木雄一郎事務所にて作成

文科省天下り OB迂回ルートができるまで

2008年
12月末

改正国家公務員法施行

2009年
7月

嶋貫氏による
あっせん始まる

「脱法」枠組みは
法改正がきっかけ

2013年
9月

「再就職支援業務
について」作成



「脱法」天下り
あっせん制度化

2014年
1月

文教フォーラム
設立

2016年
12月

再就職等監視委
強制調査

2017年
1月

事件が報道される
文科次官辞任



嶋貫氏の
収入源

財団法人教職員生涯福祉財団 審議役

明治安田生命保険相互会社 顧問

株式会社第一成和事務所 顧問

実務負担が軽く年収の大きな「キャリアポスト」

昨日(2/6) 一部公表

再就職等監視委 調査報告書

2013年 9月作成

文部科学省作成 「再就職支援業務について」

また、**嶋貫氏**が行う再就職あっせんに対し、直接の報酬が支払われなくても、7年間にも渡って有機的に継続して実行し続けてきたのは、**嶋貫氏**に対して、**保険会社顧問**などの実務負担が軽く年収の大きな、いわゆるキャリアポストと目される再就職先などを複数あてがうことで、OBを介した再就職あっせんを今後も継続しつづけさせたいという文科省人事課及び事務次官等、そして文科省幹部OBによる了承行為が存在した。

再就職支援業務が財団から切り離されるのであれば、表向きの事業をやっていただき、秘書給与（現状 400万程度）や執務室賃料（現状 月10万程度）を文教協会を經由して業務委託費

あっせんは裏の仕事＝違法性を認識

・嶋貫氏には1月に週1日程度の**保険会社顧問**に就任していただき、残りの4日間で再就職支援業務をボランティアベースで行う。

【保険会社顧問ポスト案】

- ・工藤智規(67)（第一生命保険顧問 **週1日 1,000万**）
→ 工藤氏は若葉共済会会長（1,000万）への話がある
公立共済社なので玉井理事長に要相談
- ・遠藤昭雄(67)（明治安田生命顧問 **月2日 1,000万**）
→ 遠藤氏の再就職先が必要

保険会社の 天下りポストを 文科省が管理!!

文部科学省職員及び元職員による再就職等規制違反事案の概要(2)

